

石狩炭田炭層対比図について

根本隆文*・佐川 昭**

NEMOTO, T. and SAGAWA, A. (1985) Correlation chart of coal seams in the Ishikari Coal Field. *Bull. Geol. Surv. Japan*, vol. 36(7), p. 415-426.

北海道の石狩炭田は、古第三系の模式的発達地として知られている。また我が国の最重要炭田としての価値を有しており、それは現在に至るまで変わっていない。

この地域には、古第三系石狩層群に属するきよう炭層が広く分布し、かつては多くの炭鉱によって開発されていた。石狩層群は白亜系を基盤として、下位から登川層・幌加別層・夕張層・若鍋層・美唄層・赤平層・幾春別層・平岸層及び芦別層の順に重なり、幌内層に覆われる。これらの地層のうち主要なきよう炭層は登川層・夕張層・空知地区の若鍋(茂尻)層・美唄層・幾春別層及び芦別層である。空知地区には全層が分布するが、夕張地区には美唄層・赤平層・平岸層及び芦別層は分布しないとされている。なお、夕張地区に分布する幾春別層の下部に発達する虎の皮層の対比について、美唄層上部とする意見もあるが、本文では幾春別層としておく。

きよう炭層は、その層厚や岩相の変化、炭層の分裂状態などが激しいため、炭田の南部と北部とはもとより、隣接鉱区、または同一坑内においてさえも対比が困難である。しかし、炭層の連続とその賦存状況を正しく把握することは、炭量計算や企業の開発設計上欠くことのできない基本的作業である。このような問題を解決するために、北海道炭鉱技術会地質部会では、昭和23年ころから道内の各炭田で炭層対比の検討が行われていた。更に30年には同部会のなかに“炭層対比研究委員会”を発足させ、成果の一部は「日本鉱産誌」(工業技術院地質調査所, 1960)上に記載されている。

このたび、上記の資料を更に利用しやすくするために、貴重な諸資料を総括し、新しい資料を補足して石狩炭田炭層対比図を作成した。

作成に当たっては、住友石炭赤平炭鉱株式会社、三井石炭鉱業株式会社砂川・芦別鉱業所、三菱石炭鉱業株式会社南大夕張炭鉱業所の御協力を受けた。深く感謝する次

第である。また、資料の検討に対して種々の助言を頂いた関係炭鉱の各研究者ならびに本多仁磨氏(北星コンサルタント株式会社)、榎野光雄氏(三菱鉱業セメント株式会社)にも併せて感謝を申し上げる。

なお作成要領は次のとおりである。

- 1) 柱状図の配列は「日本鉱産誌」に掲載の“石狩炭田石狩層群炭層対比図”に準じた。
- 2) 使用した原図の記載事項中には、a)夕張層炭層対比図のうち柱状番号㊸で1番層が2層ある、b)登川層炭層対比図のうち㊸の5番層と6番層の山丈及び炭丈が全く同じである、c)夕張層炭層対比図のうち㊸の9番第2下層と9番第1下層の山丈及び炭丈が同一であること等、疑問な箇所もあるが、現段階では、再検討が難しいのでそのまま記載した。
- 3) 石狩炭田炭層対比表では、一部の炭層を省略した。
- 4) 空知地区の赤平層から上位のきよう炭層については炭層対比に問題点があるので対比を行わなかった。
- 5) 空知地区の若鍋層は、下半部の含炭部のみを図示した。
- 6) 位置図のうち線状の番号は長い露頭、○印と番号とはそれ以外の露頭・坑道及び試錐等を示す。

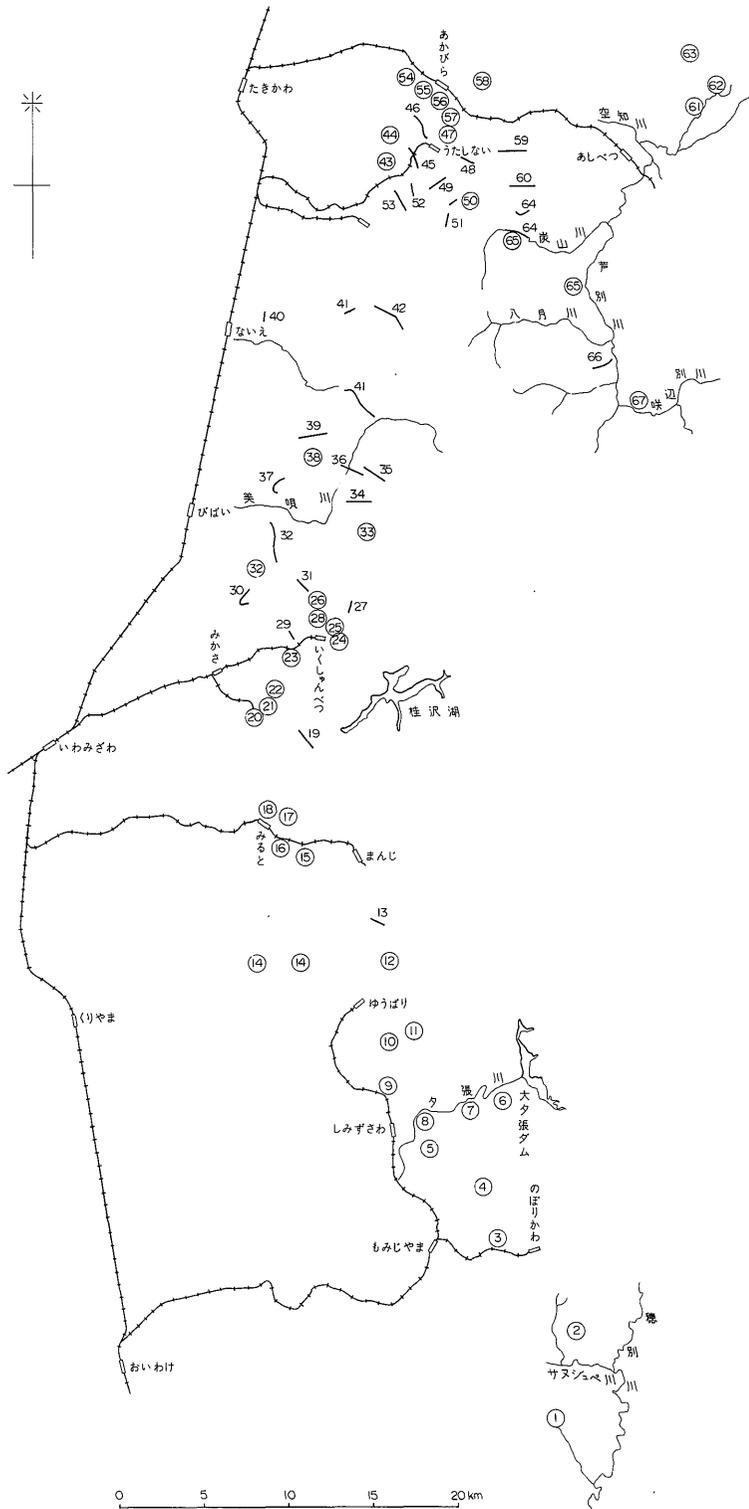
文 献

北海道開発庁(1962) 北海道鉱工業開発計画調査、石炭化学工業開発基本調査報告書。一石狩炭田中部地区炭質、炭量調査一。65p。
 ———(1963) 北海道鉱工業開発計画調査、石炭化学工業開発基本調査報告書。一石狩炭田南部地区炭質炭量調査一。72p。
 工業技術院地質調査所(1960) 日本鉱産誌、V-a、主として燃料となる鉱石。p. 131-191。

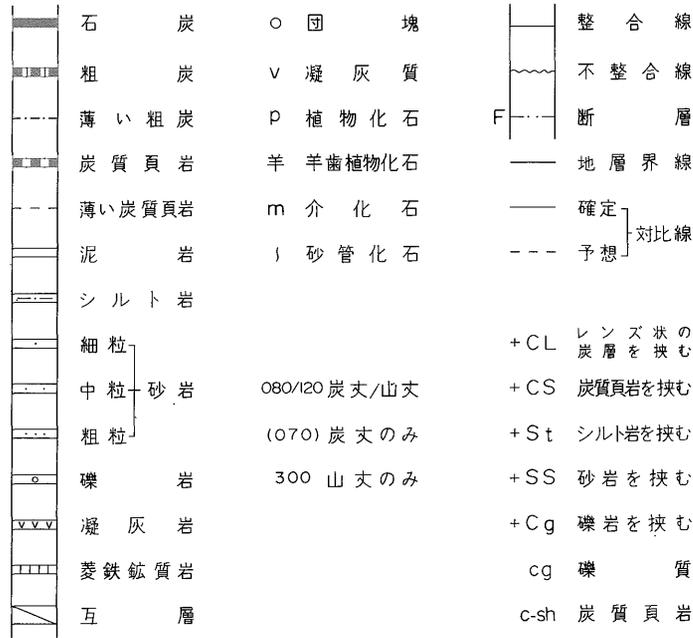
(受付：1984年12月20日；受理：1985年2月14日)

* 元所員, ** 北海道支所

石狩炭田炭層対比位置図



凡 例



炭 層 名

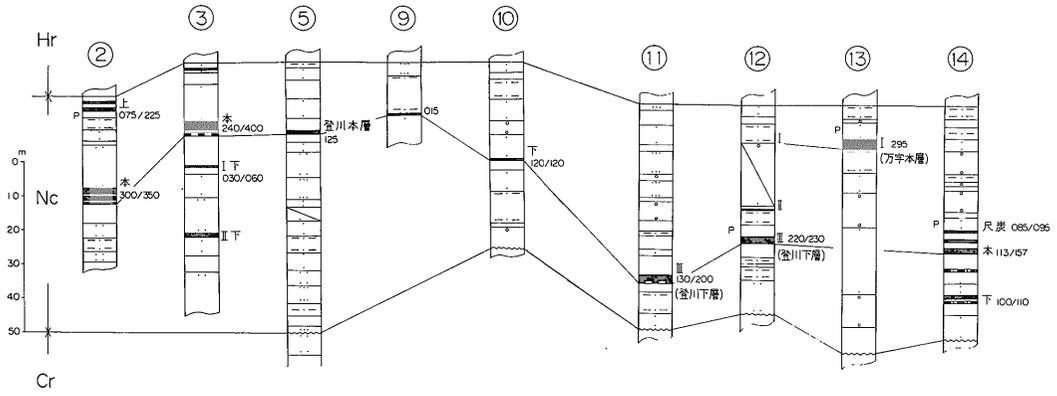
Ⅲ	3 番 層	虎 皮 とら皮層
Ⅱ上	2 番 上 層	虎 皮 上 とら皮上層
第Ⅱ上	第 2 上 層	虎 下 3 尺 とら下 3 尺層
4 尺	4 尺 層	我 路 がろう層
上 3 尺	上 3 尺 層	昭 和 昭 和 層
2 尺下	2 尺 下 層	東 山 ひがし山層
68 尺	6 8 尺 層	新 吾 しんご層
間 Ⅲ	あい 3 番 層	平 安 8 尺 平 安 8 尺 層
間 4 尺	あい 4 尺 層	

地 質 記 号 凡 例

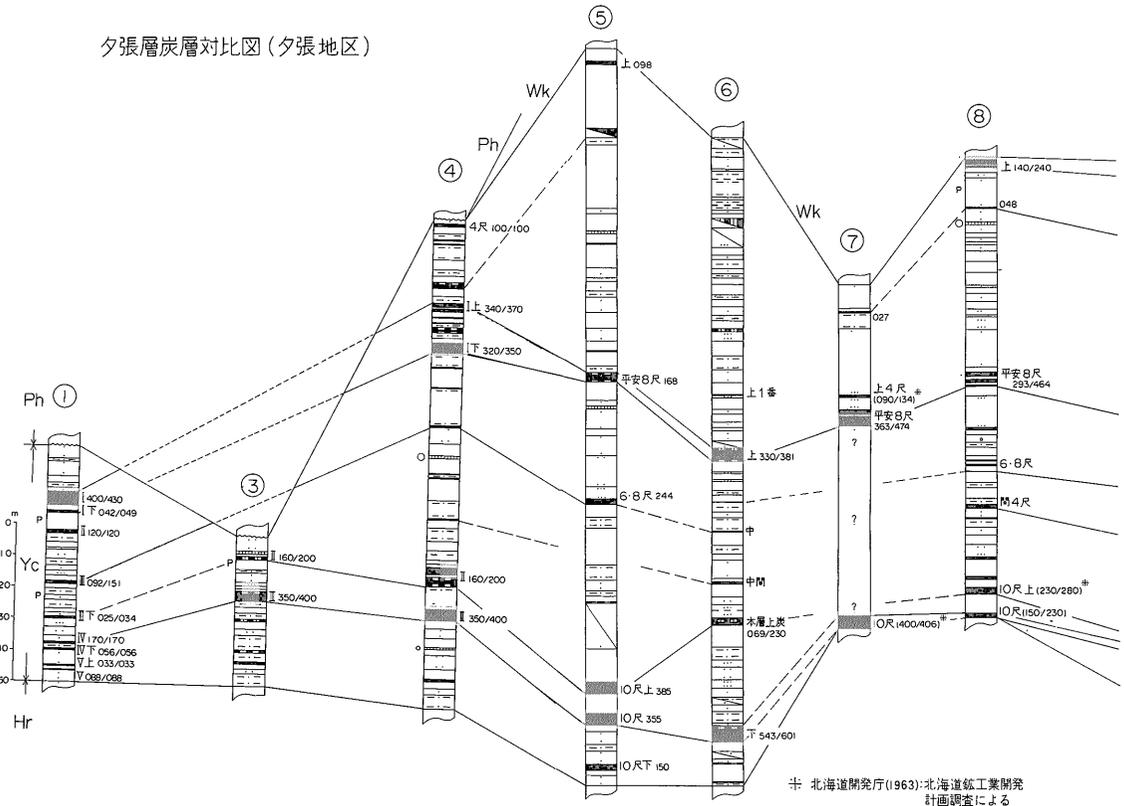
Ph	幌 内 層
Ac	芦 別 層
Hg	平 岸 層
Ik	幾 春 別 層
Ak	赤 平 層
Bc	美 唄 層
Wk	若 鍋 層
Yc	夕 張 層
Hr	幌 加 別 層
Nc	登 川 層
Cr	白 亜 系

右狩炭田炭層対比図について(根本隆文・佐川 昭)

登川層炭層対比図(夕張地区)

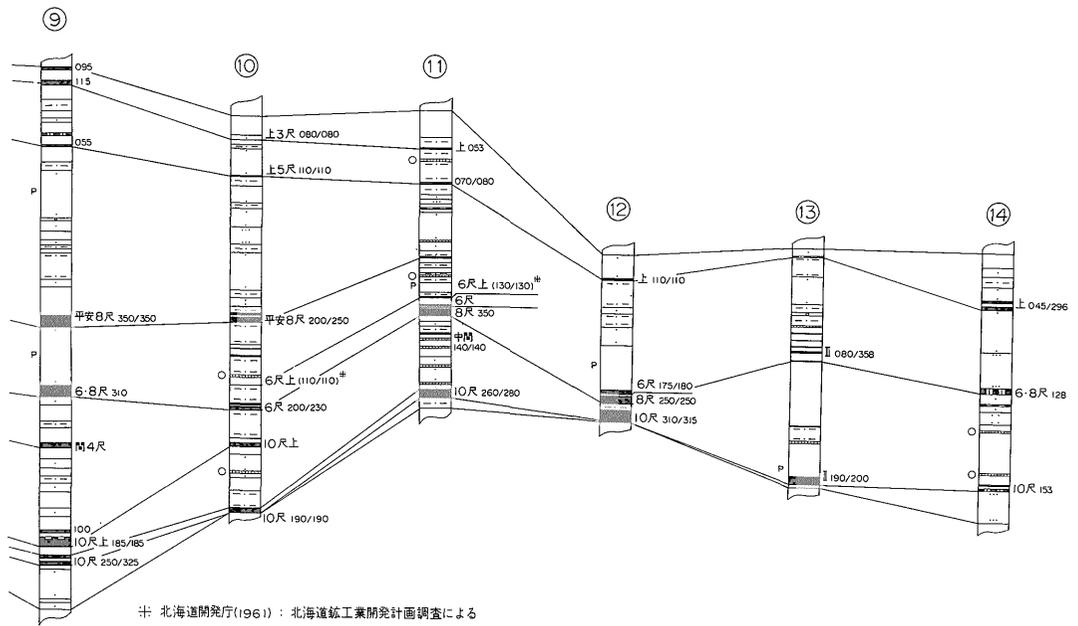


夕張層炭層対比図(夕張地区)

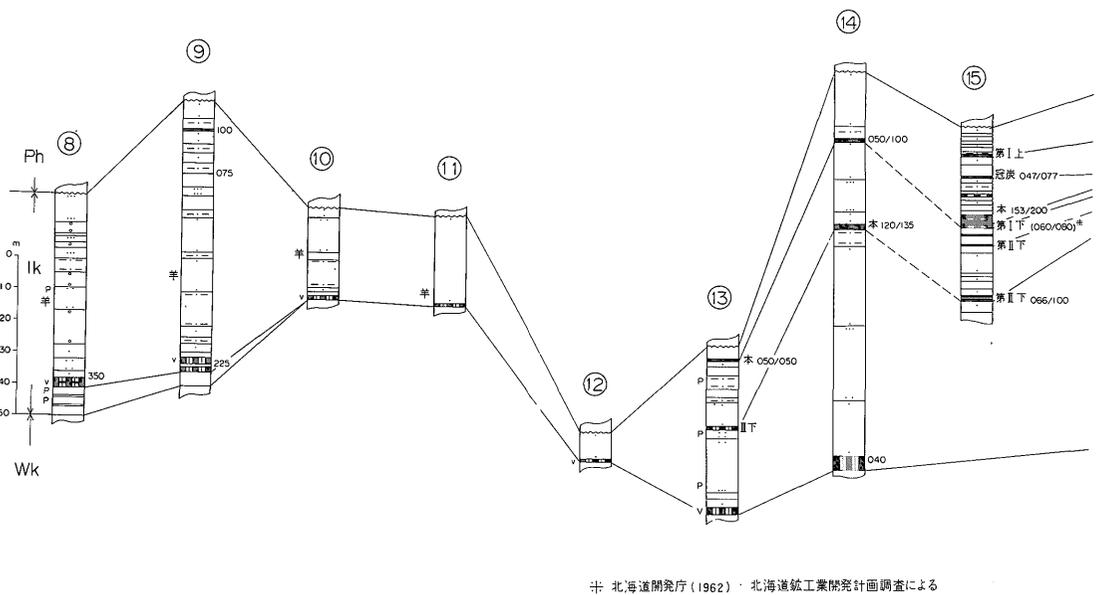


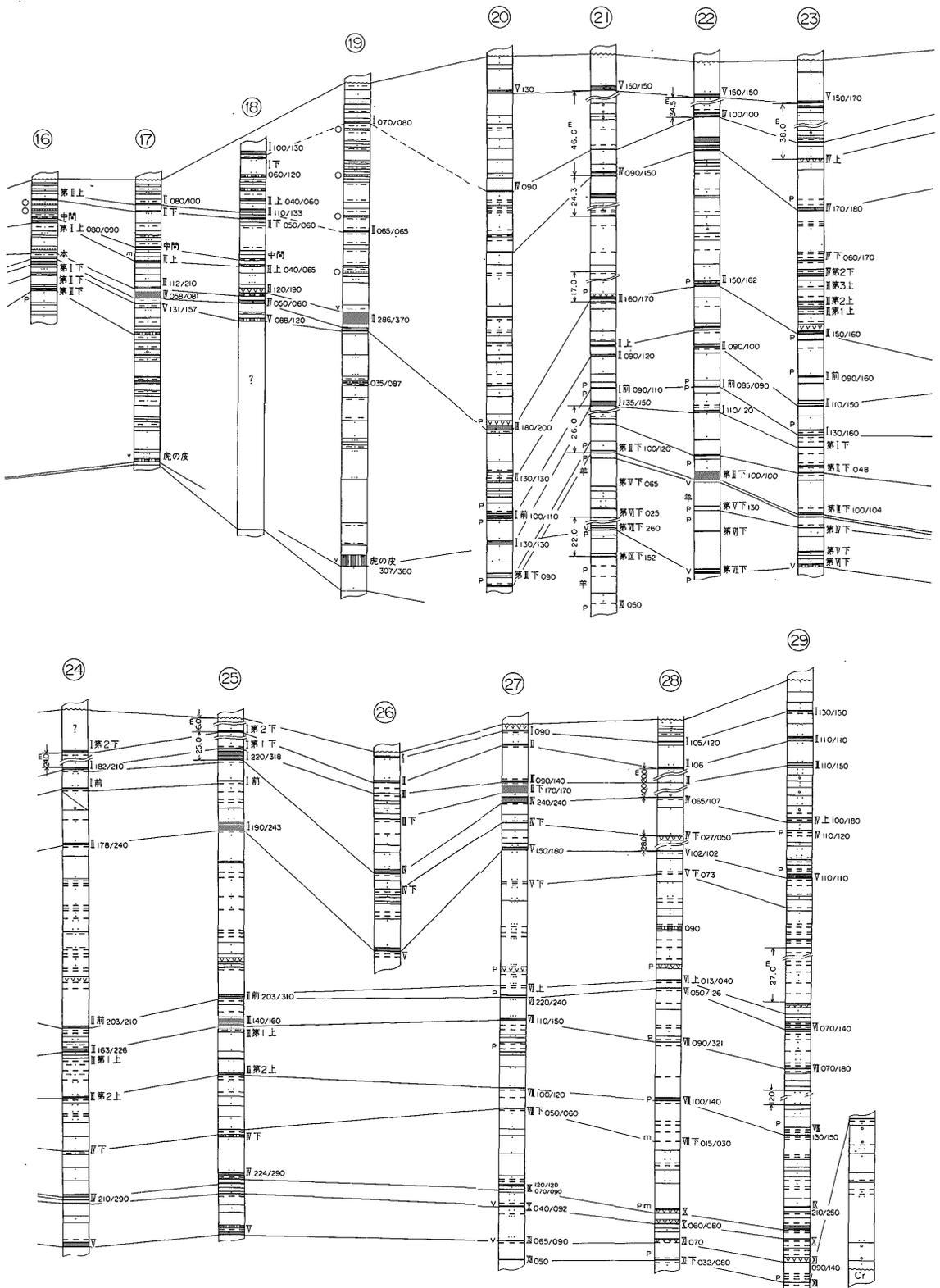
※ 北海道開発庁(1963)北海道鉱工業開発計画調査による

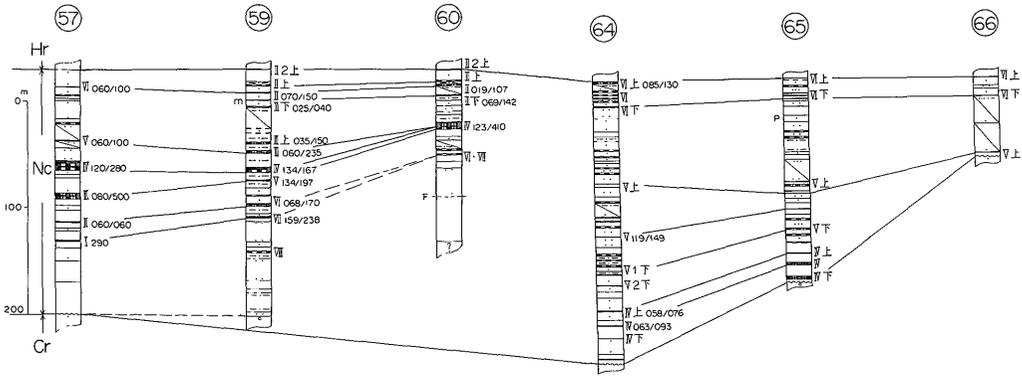
石狩炭田炭層対比図について (根本隆文・佐川 昭)



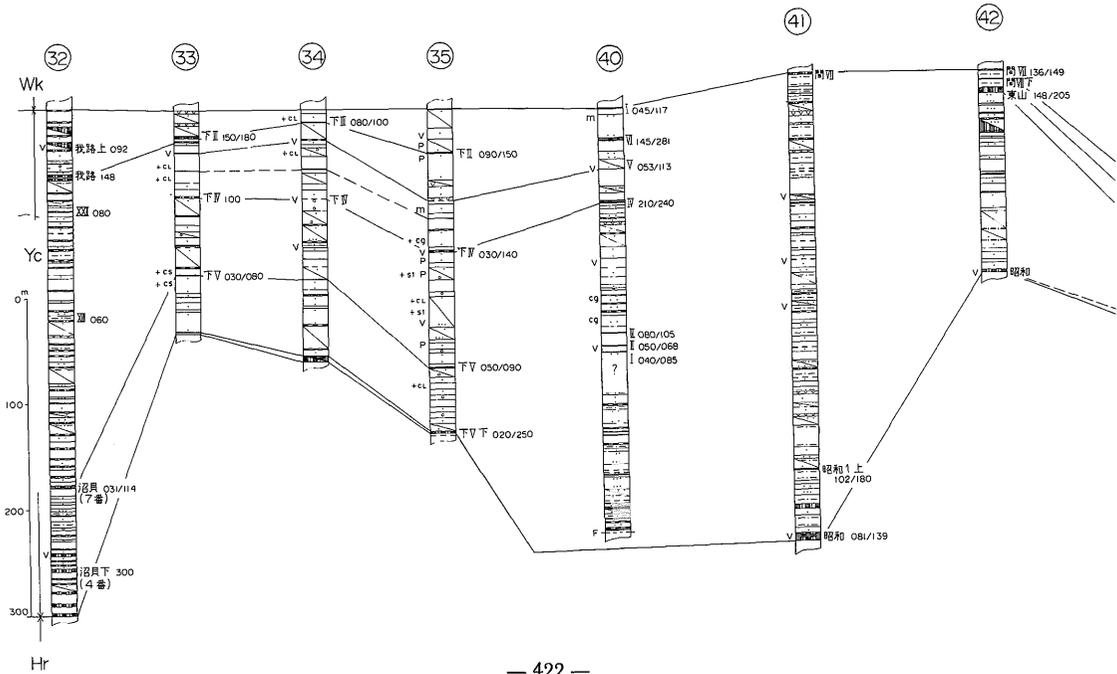
幾春別層炭層対比図(夕張地区)



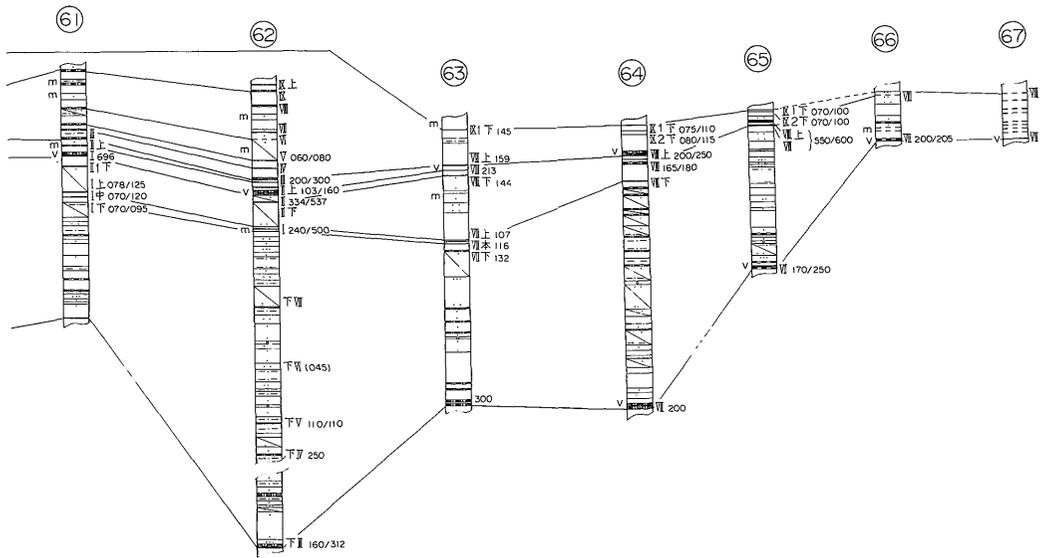
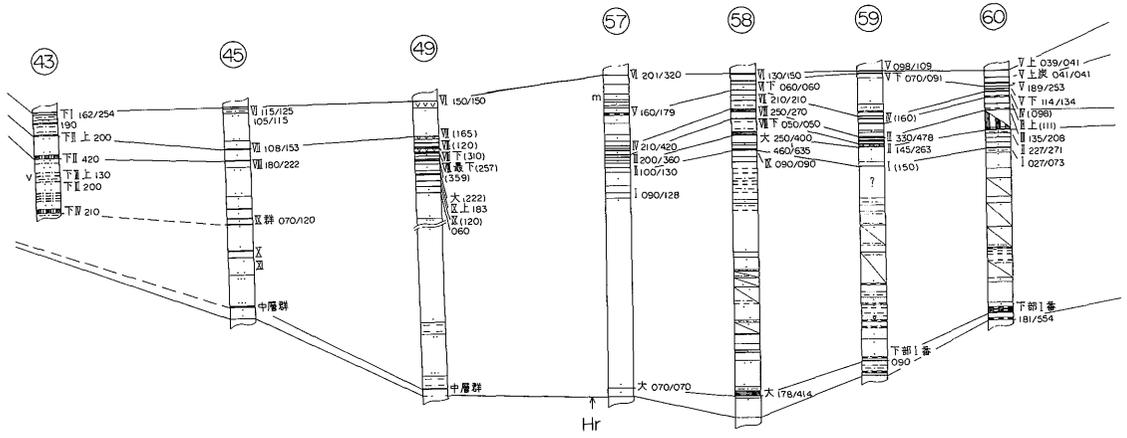




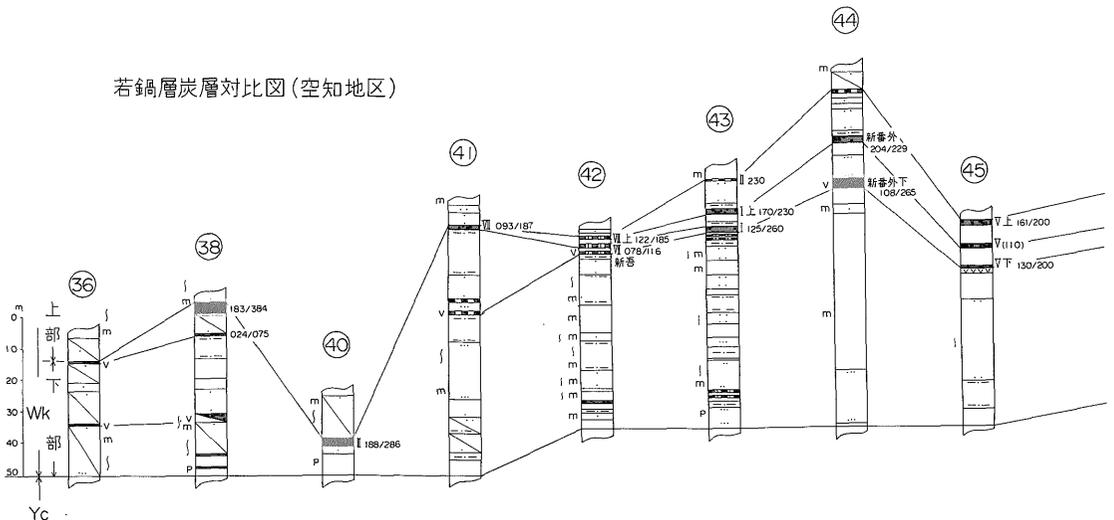
夕張層炭層対比図(空知地区)

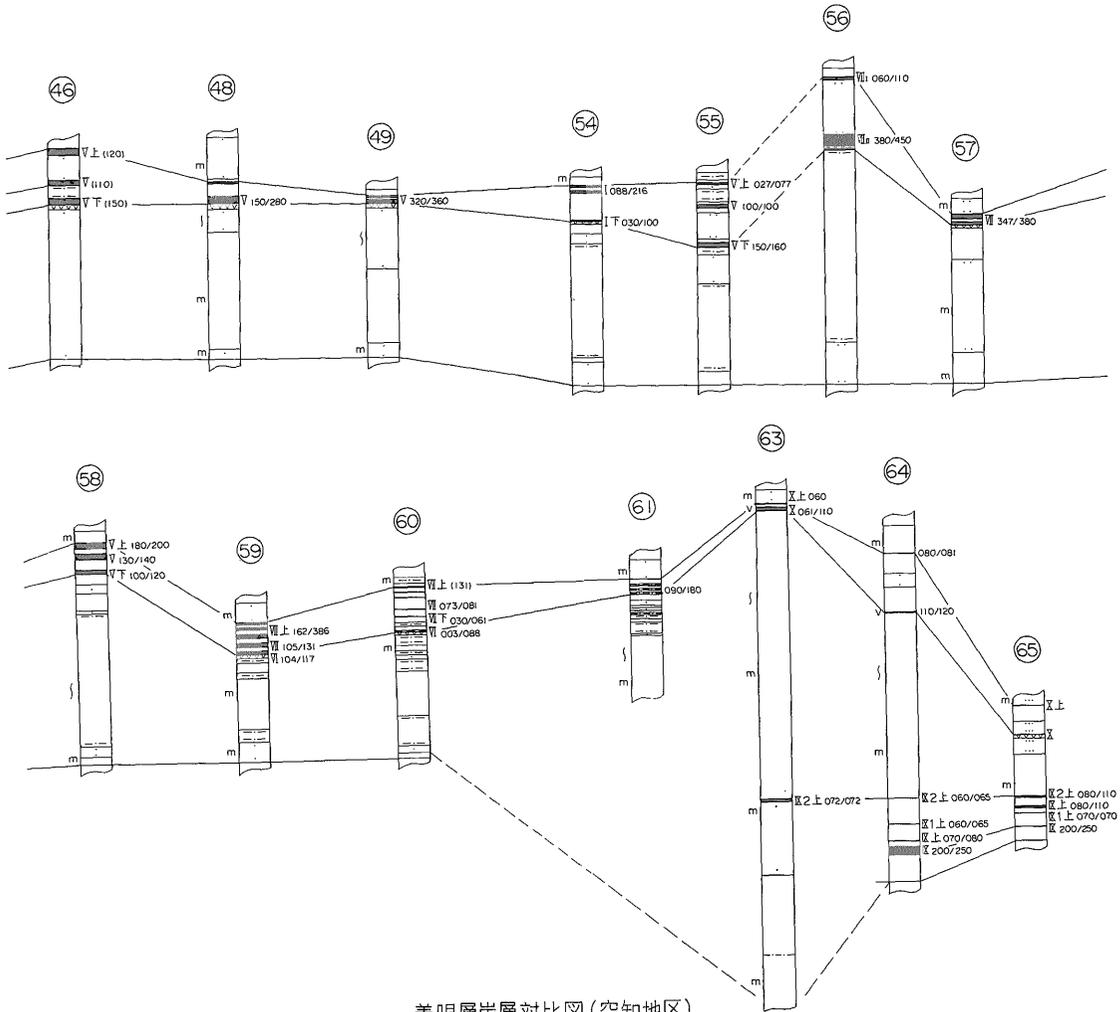


石狩炭田炭層対比図について (根本隆文・佐川 昭)

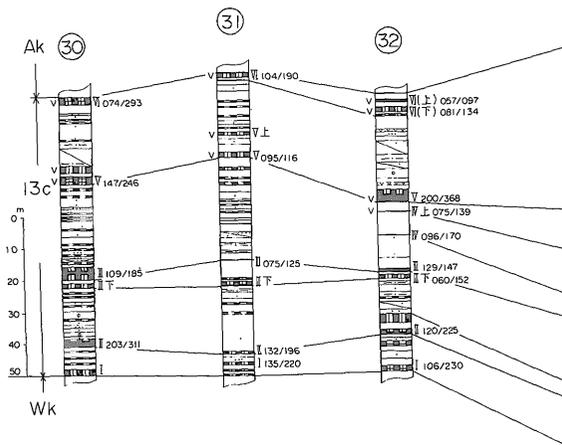


若鍋層炭層対比図 (空知地区)





美唄層炭層対比図(空知地区)



石狩炭田炭層対比図について (根本隆文・佐川 昭)

